## 外部評価を踏まえた対応方針一覧

事務事業名		農畜産物等総合販売推進事業	商店街機能強化事業	市民参加による緑化の推進 (十和田市花壇コンクール)
担当課名		農業政策課	商工労政課	都市整備建築課
内部評価	事務事業の 方向性	有効性を改善し、さらに重点化を図る	有効性を改善して継続	有効性及び効率性を改善して継続
	方向性の理由	現在、農産物を主体とした取組を行っているが、農業分野のみならず関連する広範囲な業務の連携が必要であり、その態勢づくりと各種業態が連携して取り組む環境づくりが重要である。	中心市街地の活性化という観点から、商店街機能を強化し来街者 の増加及び利便性の向上を図っていく。	コスト低減を図りながら継続して実施する。
		農畜産物といった農業資源のみならず、観光資源や埋もれている 資源等の利活用を高め、当市の知名度アップと地域の活性化につ なげていくため、組織の再編強化による総合的な施策の展開が必 要である。	イベント等における来街者の動向を検証し、現代美術館等と連携して美術館等への来館者等が商店街を回遊するための事業の強化、並びにイベント等を実施する事業者の自立を図る。	「十和田市花壇コンケール」の事業推進に加え、庭造りの参考になるオーブンガーデン事業も積極的に拡大し、緑と花のまちづくりを推進する。
	事務事業の 方向性	有効性を改善して継続し、さらに重点化を図る	有効性を改善して継続	事務事業の統廃合を図る
外部評価	<b>指</b> 摘 <b>争</b> 填	有効性を改善して継続 3名 ・他部門との連携強化を図り取組んで頂きたい。 ・PR不足のように感じているので大いにPRして頂きたい。 さらに重点化を図る 2名 ・特化を図り重点的に取組んで頂きたい。 ・この組織をもっと上位の位置付けて、市ぐるみで部課横断的に取組むべき。 公平性を改善して継続 1名 ・生産者に物を作るだけでな〈販売もさせるようなシステムを教えながら進めてはどうか。 (その他コメント) ・複数部局が連携しやすいように、市長直属の仕切り部門を設置してはどうか。 ・市庁内のコミュニケーションの充実を図り、情報を交換しあうようにすべき。 ・市役所の中で最も輝いている部署だと思う。意欲的な姿勢を高〈評価し、もっと大き〈活躍させたい。	有効性を改善して継続 3名 ・イベントや情報誌の効果の判定について、担当課による調査をすべき。・情報誌については、継続出来るように工夫してほしい。 ・イベントを開催したら、各個店も売上げに繋げるように努力をしてほしい。 効率性を改善して継続 1名 ・追跡調査を行うことによる改善が必要。 有効性及び効率性を改善して継続 1名 ・情報誌について、「ゆるりら、十和田(観光ガイドブック)」、「ゆるりら、十和田(観光ガイドマップ)」、「とわだおみやけぶっさん」、「とわだまるごとFood Drink Stay」を1冊にして作成できないか。 事務事業の統廃合を図る 1名 ・情報誌もイベントも沢山あるが、それぞれの連携が非常に悪い。部を越えた視点での調整をすべき。	事務事業の統廃合を図る 1名 ・花壇コンクールは廃止し、オープンガーデンとわだ事業を発展させてはどうか。 休止 1名 ・花壇コンクールの役目は評価するが、歪も生じてきているので休止した方が良い。 完了・廃止 1名 ・長期間継続している事業ではあるが、市民への啓発は浸透したものと思われる。 オープンガーデンとわだの推進が良いものと思われる。費用対効果から見ても完了で良いのではないか。 有効性を改善して継続 1名 ・形を変えて意義を深めてはどうか。 有効性及び効率性を改善して継続 2名 ・十和田市のまちが美しくなることを願う。 (その他コメント) ・緑化まつりや、花いっぱい運動等との連携も考えて頂きたい。 ・同内会連合会との連携や、官庁街の花壇づくり等、新しい形を探ってほしい。緑と花をいっぱいにする活動自体はとても重要である。 協議の結果、最終的な判定として「事務事業の統廃合を図る」とした。
		十和田市事務事業評価市民検討委員会における、ご意見、指摘事項及び「有効性を改善して継続し、さらに重点化を図る」との提言を踏まえ、以下について取組んでまいりたい。 ・事業については、目的を特化し、効果のある取組を図っていく。 ・十和田産品のPRについては、より宣伝効果のある方法を検討していく。 ・他部門との連携や、組織の関係については関係課と協議、検討していく。	十和田市事務事業評価市民検討委員会における、ご意見、指摘事項及び「有効性を改善して継続」との提言を踏まえ、以下について取組んでまいりたい。・イベントにおいては、来街者に対しての調査だけではなく、参加店、参加者及びイベント会場周辺の商店等において、ストリートフェスタ等の集客イベントへの期待、意識、参加状況、疾酷状況の問題点、今後の改善点等をイベントごとに調査をしていくとともに、定能状況の問題点、今後の改善点等をイベントごとに調査をしていくととして、年間を適じた集客イベントとしての事業効果を検証し、効率的で有効性の高いイベントとして実施されるようにしていく。・「情報誌においては、読者や情報誌を配付しているお店等からの意見、利用状況等を調査、検証し、話面の充実や配布先の検討等を行い、より多くの人が読み、商店街への来街のきっかけとなるような情報誌づくりを進めさせる。・イベントの実施及び情報誌の発行については、今後、自立して実施していくように事業者に促していく。	十和田市事務事業評価市民検討委員会における、ご意見、ご指